

平成 29 年第 3 回大崎市議会定例会一般質問発言通告書

発言順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
1	25	大友文司	<p>1 骨髄移植に伴うドナー助成制度の取り組みについて</p> <p>(1) 宮城県が 6 月議会で、ドナーで入院した場合、休業補償として助成するとし、市町村との折半を想定しているが、大崎市の対応について</p> <p>2 古川駅前広場の整備について</p> <p>(1) バスターミナル並びにタクシー乗り場へのアプローチについて</p>
2	11	横山悦子	<p>1 危機管理について</p> <p>(1) 「命を守る」避難訓練実施について</p> <p>(2) 保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、事業者等、人が集まるところへの早急なる戸別受信機の配置はいつごろか</p> <p>(3) Jアラート受信機更新について</p> <p>(4) 災害時用のマンホールトイレの設置状況と今後の計画について</p> <p>2 新図書館運営について</p> <p>(1) 読書通帳の作成について</p> <p>(2) 駐車場、駐輪場不足解消と書棚への本の空きについて</p> <p>(3) 現在の運営状況と、会員数の増加により人材に不足はないか</p> <p>(4) 蔵書計画について</p> <p>3 改善された就学援助制度の徹底について</p> <p>(1) 国の予算単価の見直しを受け、本市の単価はどうか</p> <p>(2) 本市の取り組みについて（対象者も含めて）</p> <p>(3) 保護者への周知方法について</p>
3	29	小沢和悦	<p>1 米朝間武力衝突を避けるための市長の行動について</p> <p>(1) 市長として、宮城県市長会として「政府は、米朝間無条件対話による事態打開」を進言すべきではないか</p> <p>2 農業と農家を守る対策について</p> <p>(1) 冷夏による農家の減収が心配されるが、戸別所得補償等直接支払い交付金の早期支払いを実現することについて</p> <p>(2) 来年度からの戸別所得補償制度廃止問題への大崎市の対応</p> <p>3 市内公共交通の一層の改善について</p> <p>(1) 旧古川市内農村部での「予約乗り合い型タクシー」運行体制</p> <p>(2) タクシー事業者への「委託費」見直しについて</p> <p>4 各事業所での必要な人材確保、若者の地元定着を画期的に強化する奨学金制度の実現見通しについて</p> <p>(1) 実現に向けたこれまでの努力の到達点</p> <p>(2) 想定している制度創設、スタートの時期</p>

発言順	議席番号	氏名	発言事項
4	28	佐藤清隆	<p>1 中心市街地復興まちづくりについて</p> <p>(1) 市役所本庁舎建設において用地の取得が不可欠だが、そのめどについて問う</p> <p>(2) 行政業務の効率性と集約性の観点から東庁舎との連絡路の設置が不可欠と思うが、その考えを伺う</p> <p>(3) 旧大崎市民病院南病棟の活用の是非について</p> <p>(4) 千手寺周辺地区整備について</p> <p>ア (仮称) 道の駅おおさきの内容について</p> <p>イ 子育て支援拠点施設について</p> <p>ウ 大崎広域消防本部・古川消防署建設の内容について</p> <p>エ 市役所前から西への市道延伸の完成年度を問う</p> <p>2 市の花、木、鳥及び市民歌の普及啓発について</p> <p>(1) 市の花、ひまわりについては三本木地域の壮大なひまわり園を見る限り異論はない。しかし、市の花である以上は、大崎市の隅々、至るところで「ひまわり」の群れを見るようであればならない。その方策があるか、伺う</p> <p>3 生活雑排水処理問題について</p> <p>(1) 環境汚染防止は大小便の処理ではなく(汲み取り事業で解決)、生活雑排水の処理にある。その方策として下水道事業、農集排事業、浄化槽事業があるが、ここでは農集排事業と浄化槽事業とを比較し、費用対効果を初め、それぞれの優位性を問う</p> <p>(2) 農集排事業での西古川、飯川地区の管路及び処理施設の機能強化の内容について</p> <p>4 道路建設事業について</p> <p>(1) この事業は市民要望の中でもとりわけ大きいですが、最近では市民要望に込えられているのか</p> <p>(2) 本年度の6月議会の行政報告の中に市道飯川耳取線の舗装修繕工事を掲げているが、通学路の設置が地域の悲願である。それに応える考えを問う</p> <p>5 小学校統合問題について</p> <p>(1) 古川地域における小学校統合の具体的なめどについてそろそろ具体化に向けて方向性を示す時期ではないか</p> <p>(2) 鹿島台地域、玉造地区、古川地域の廃校後の利活用について</p>
5	21	木内知子	<p>1 宮城県の水道事業「官民一体管理」と大崎市の関係について</p> <p>(1) 県主導の上下水一体官民管理運営方式及び参加した場合のメリット・デメリットは何か</p> <p>(2) 本市は参加の意志があるのか</p> <p>2 市民が納得できる防災行政無線にするために</p> <p>(1) デジタル化後の市民からの苦情への対応</p> <p>(2) 区長、自主防災組織代表へ配付の戸別受信機で外部アンテナ必要世帯への対応の遅れはなぜか</p> <p>(3) 戸別受信機希望者への対応</p> <p>(4) 今後の改善策と市民への対応</p>

発言順	議席番号	氏名	発言事項
6	18	後藤錦信	<p>3 主要地方道鹿島台高清水線の歩道設置について</p> <p>(1) 工事の進捗状況と完成時期について</p> <p>1 治山治水への取り組みについて</p> <p>(1) 取り組みへの基本的な考え、姿勢について</p> <p>(2) 河川管理と立木処理について</p> <p>(3) 荒廃が進む上流域の森林管理について</p> <p>(4) 鳴子温泉地域車湯から上鳴子大谷川合流地点までの河川整備推進について</p> <p>2 大崎市森林ビジョンの実現に向けて</p> <p>(1) 取り組みの進捗管理の現状について</p> <p>(2) 林業行政に精通した職員の育成と組織体制の整備について</p> <p>(3) 環境教育の場としての森林の活用と、「緑の少年団」の拡大について</p>
7	3	八木吉夫	<p>1 仮称熱回収施設等周辺地域ビジョン、エコタウン構想を踏まえての自治体のあり方について</p> <p>(1) 廃熱利活用をどのように捉え、人口減による税金、交付税縮小等を踏まえた自治体として、公営企業の収益増を計画し、将来市民の負担軽減につなげるべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>2 七日町西地区再開発について</p> <p>(1) 進捗状況、支援体制の具体策を伺う</p> <p>3 消防団のポンプ車について</p> <p>(1) 消防団員の減少、高齢化が進んでいる現状において、ポンプ積載車を完備すべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>4 産業振興策について</p> <p>(1) ものづくり分野において、高度技術者の養成、人材育成を図るために高度教育機関との連携を模索する企業に対する支援を実施すべきと考えるが、所見を伺う</p>
8	24	佐藤和好	<p>1 大崎市公共施設等総合管理計画について</p> <p>(1) 本計画書第4章、全庁的な取り組み体制の構築・情報共有のあり方に示されている個別施設計画の進捗状況について</p> <p>2 防災行政無線の有効活用について</p> <p>(1) 29年度の議会報告会において、防災行政無線に対する質問、要望が非常に多かった。実態把握と改善方をどのように講じているか、伺う</p> <p>3 建設行政について</p> <p>(1) 用地交渉の人的配置は十分か</p> <p>(2) 北原工業団地周辺の道路網整備はどのように計画されているのか</p> <p>(3) 高速道古川インター周辺の道路整備の考え方</p> <p>4 聴覚障害者への対応について</p> <p>(1) 大崎市民病院本院での聴覚障害者への対応はどのよう</p>

発言順	議席番号	氏名	発言事項
9	20	山村康治	<p>に講じられているのか、伺う</p> <p>1 パークゴルフ場整備と市民パークゴルフ大会について</p> <p>(1) 加護坊パークゴルフ場は平成3年に開設され、県内ではパークゴルフのメッカと評され、年々利用者が増大傾向にある。開設当時は年間2万人程度だが、最近では年間6万人を超える状況になっている。しかし、平成18年に建設されたクラブハウスは椅子席が42席しかなく、一日平均200人、多い時は400人を超える利用者がいる状況に対応することが極めて困難な状況にある。また、年1回の公認指導者講習会が100人以上の規模で開催されているが、施設がないため他の地域で行われている状況にある。このことから、現在のクラブハウス161平方メートルでは狭隘なため、拡張、増設をすべきと思うが、市長の所見を伺う</p> <p>(2) 田尻地域には、公民館が管理しているスキップパークゴルフ場がある。現在9ホールが2コースの18ホールだが、交通アクセスがよい上、平坦地にあるため、高齢者や初心者にも優しいコースとして大評判で、連日多くの人に利用されている。年間2万5,000人の利用があり、大変混雑している状況にあることから、隣接しているグラウンドとの調整を図り、1コース9ホールの増設を要すべきと思うが、所見を伺う</p> <p>(3) 三本木の県有地にパークゴルフ場建設が計画されているが、パークゴルフ機運が高まる中、市民の一体感醸成を一層高めるため、大崎市長杯を冠に市民パークゴルフ大会を企画してはどうか、所見を伺う</p> <p>2 工業団地造成と農山村振興施設整備について</p> <p>(1) 農村地域工業等導入促進法の一部改正に伴い、これまでの工業等5業種、いわゆる工業、道路貨物運送業、倉庫業、こん包業及び卸売業に限定せず、対象となる産業の業種を拡大するとして、農村地域工業等導入促進法を農村地域への産業の導入の促進等に関する法律、いわゆる農村産業法に改正された。このことにより、農村地域での立地ニーズが高いと見込まれる産業の導入や、農村に賦存する多彩な地域資源を活用した地域内発型産業の創出を促進し、就業の場を確保することが必要とされている。今回の法改正により、大崎市として今後の企業誘致のあり方をどうとらえているのか、伺う</p> <p>(2) 新鶴巻地区に工業団地整備計画が示されているが、進捗状況を伺う</p> <p>(3) 新鶴巻地区を含め、江合川川北地域に、農山村振興対策として農山村地域資源活用施設の一大拠点整備構想の策定を進めるべきと思うが、所見を伺う</p> <p>3 道路整備について</p> <p>(1) 県道河南築館線の田尻大貫地内は幅員が狭隘で、相互交通が困難な状況にある。県との協議を進め、早急に</p>

発言順	議席番号	氏名	発言事項
10	9	木村和彦	<p>拡張整備をすべきと思うが、所見を伺う</p> <p>(2) 県道古川登米線の側溝整備が田尻駅前から桜田地内まで整備されたが、それより以西は中断されている。今後の計画はどうなっているのか、伺う</p> <p>4 公民館指定管理について</p> <p>(1) 平成24年から市内18カ所の地区公民館が指定管理となり、2期6年が経過しようとしている。30年度は3期目の契約更新時期となっているが、各公民館職員は市民サービスの向上や生涯学習の充実に必死に取り組んでいる。しかし、定期昇給やベースアップがなく、さらにボーナス支給もない状況である。公民館機能の安定充実のため、指定管理料に加味して、公民館職員の待遇改善を図るべきと思うが、所見を伺う</p> <p>5 市営住宅整備計画について</p> <p>(1) 市内には市営住宅が1,700戸余りあるが、耐用年数を超え、老朽化が著しいものが相当数ある。今後の整備計画をどう考えているのか、伺う</p> <p>6 若者世帯の移住支援事業について</p> <p>(1) 住宅新築移住支援、住宅購入移住支援、住宅購入に伴うリフォーム移住支援、三世代リフォーム支援、各事業の現在の実績を伺う</p>
11	15	相澤孝弘	<p>1 放課後児童クラブ待機児童解消策について</p> <p>(1) 施設建設の今後の計画について</p> <p>(2) 市有地の有効利用</p> <p>ア 周辺の集会所や公園の敷地の活用</p> <p>2 市立幼稚園のあり方について</p> <p>(1) 園児数の減少が著しい幼稚園の今後の運営について</p> <p>ア 2歳児まで幼稚園で保育を行う方針が国から示されている。本市の対応は</p> <p>3 道の駅について</p> <p>(1) 鶴巻地区を工業団地にする計画が進められているが、交通の要所の考えから、道の駅を同時に進める考えは</p>
			<p>1 世界農業遺産、日本農業遺産認定と取り組みについて</p> <p>(1) 未来に残すとしている宝とはどのようなものか</p> <p>(2) 自然環境の保全と整備の取り組みはどのように行うのか</p> <p>2 入札事務について</p> <p>(1) 測量入札関係で問題視されている件の結果はどうなったのか</p> <p>(2) 物品調達の入札手続は適切に行われているのか</p> <p>(3) 発注方法で地元業者が受注されやすい工夫がされているか</p> <p>3 弾道ミサイルを想定した住民避難訓練について</p> <p>(1) 大崎市で避難訓練の実施は考えていないのか</p> <p>(2) 避難方法について市民は十分理解しているか</p> <p>4 豪雨災害から地域を守る新たな政策について</p>

発言順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
12	5	佐藤弘樹	<ul style="list-style-type: none"> (1) 9・11 から2年が経過した現在、復旧工事の進捗状況は (2) 想定外雨量から、恒常的と考えた雨水冠水対策が必要ではないか <ul style="list-style-type: none"> 1 空き校舎等を活用したアーティストヴィレッジ構想について 2 創業支援体制の充実について 3 撤去した小学校遊具を早期に更新すべき 4 (仮称)大崎東学校給食センター建設計画の進捗状況について 5 公認陸上競技施設の整備計画について
13	27	大山 巖	<ul style="list-style-type: none"> 1 防災対策について <ul style="list-style-type: none"> (1) Jアラート時の避難対策について (2) ハザードマップの見直しについて(避難場所の新地域の安全マップの作成)について (3) 防災訓練の見直しについて (4) 災害弱者の支援計画について (5) 通学路の安全対策について 2 公営住宅の現状とこれからの計画について <ul style="list-style-type: none"> (1) 借り上げ型市営住宅について (2) 賃貸事業者との関係について 3 空き家、廃屋対策について <ul style="list-style-type: none"> (1) 空き家の利活用について (2) 空き家情報の一元化の案内について 4 交通安全運動の事業について <ul style="list-style-type: none"> (1) 春、秋等の交通安全運動の大切さについて 5 鳥獣による農林業被害防止対策について <ul style="list-style-type: none"> (1) 農業被害は毎年膨大な額に上ることから、補助を行うことについて (2) 鳥獣の捕獲、電気柵設置費用対策費等について (3) 市長は、どのように市の農林業を鳥獣の被害から守っていこうと考えるのか、伺う
14	8	鎌内つぎ子	<ul style="list-style-type: none"> 1 冠水対策について <ul style="list-style-type: none"> (1) 大江川改修工事が進まない中での小規模宅地造成について 2 子育て支援について <ul style="list-style-type: none"> (1) 子どもの医療費助成の所得制限撤廃について (2) 高校卒業までの子ども医療費無料について 3 放射性廃棄物の処理について <ul style="list-style-type: none"> (1) 住民説明会について (2) 住民合意が得られない場合の対応について 4 大崎市民病院分院の役割について <ul style="list-style-type: none"> (1) 夜間急患の対応について 5 大崎市職員再任用について <ul style="list-style-type: none"> (1) 年金が受給されるまでの保障について

発言順	議席番号	氏名	発言事項
15	17	山田和明	<p>1 障害児・障害者福祉について</p> <p>(1) 在宅重症心身障害児・障害者を受け入れる医療型短期入所施設を大崎市民病院，分院のいずれかで整備をすべきであるが，どうか</p> <p>(2) 発達障害児・障害者への対応については，乳幼児期から成人期までの一貫した支援体制の整備を図るべきであるが，どうか</p> <p>2 市民病院改革プランと病院ビジョンについて</p> <p>(1) 本院・分院・診療所の役割を果たすには，医療提供体制の構築が求められる。そこで，本院，分院の診療体制の確保は大丈夫なのか，伺う</p> <p>(2) 病院と在宅医療介護が連携した中で，地域で安心した生活ができるようにするためにはどう取り組んでいくのか，伺う</p> <p>(3) 病院ビジョンの策定状況について</p> <p>3 産業振興のための支援事業のお知らせについて</p> <p>(1) 大崎市は，産業の振興に向けた活動に対してさまざまな支援を行っている。そこで，市民への多様なメニューの周知をすべきであるが，どうか</p> <p>4 ヘルプカードの必要性について</p> <p>(1) ヘルプカードは，障害のある人が緊急時や災害時，困ったときに周囲の配慮や手助けをお願いしやすくするものであり，大崎市でも導入すべきであるが，どうか</p>
16	12	関 武徳	<p>1 小学校の外国語教育の取り組みについて</p> <p>(1) 外国語活動としての取り組みの評価と課題をどう捉えているのか</p> <p>(2) 教科として設定されるに当たり，どのように移行措置を考えるのか</p> <p>(3) 小学校における外国語教員の確保は図れるのか</p> <p>(4) 授業時数の確保は図れるのか</p> <p>(5) 小・中・高間の連携はどう考えているのか</p> <p>2 中学校教育の取り組みについて</p> <p>(1) 中学校教員の部活を含めた，教職従事の長時間化が問題化しているが，本市の現状と対応策の考えについて</p> <p>(2) 志教育の取り組みについて</p> <p>3 障害児医療の充実について</p> <p>(1) 障害児リハビリ及びショートステイを市民病院で受け入れられないか</p> <p>4 市街地排水路の機能維持について</p> <p>(1) 市街地排水路の機能不全による生活環境への悪影響が懸念されるが，対応の考えを伺う</p>
17	2	佐藤仁一	<p>1 地域産業振興のための人材育成と人材確保策を問う</p> <p>(1) 商業，工業，農林業における人材確保の具体策を伺う</p> <p>(2) 大崎管内における求人数と求職者の推移から，市内企業の将来予測を伺う</p> <p>(3) 異業種交流からの新規事業化や業態変化などへの支援</p>

発言順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
18	13	遊佐辰雄	<p>策を伺う</p> <p>2 大崎市民の健康寿命は県平均を下回っており、延伸向上策を問う</p> <p>(1) 市民検診データと各種取り組みの現状評価を伺う</p> <p>(2) 疾病予防と介護予防の医科歯科の有機的連携策を伺う</p> <p>(3) 歯科保健師の増員によるライフステージに沿った健康教育の充実策を伺う</p> <p>3 医療用ウィッグ・補正用具費用助成などの検討状況を問う</p> <p>(1) がん罹患者の方々への社会復帰、就労支援策を伺う</p> <p>(2) 医療用ウィッグ・補正用具費用助成の試算状況を伺う</p> <p>(3) その実現の可能性を伺う</p> <p>1 放射性廃棄物の処理について</p> <p>(1) 1市4町の確認事項と本市の対応について</p> <p>(2) 住民の理解を得ることの認識について</p> <p>(3) 最終処分場付近の住民理解が得られなくとも混焼するのか</p> <p>(4) 安全な保管管理について</p> <p>2 花淵山～鬼首大柴山トレッキングコースの整備と観光オルレコース認定について</p> <p>(1) 本格的な登山道の整備はその後どうされたのか</p> <p>(2) 花淵山ゴンドラリフトの利活用はどう検討されたのか</p> <p>(3) 日本でも例を見ないすばらしいトレッキングコースをどう認識しているのか</p> <p>(4) 宮城オルレコースとして認定を目指し、観光の目玉にすべきだ</p>	
19	1	佐藤仁一郎	<p>1 デジタル防災行政無線について</p> <p>(1) デジタル防災行政無線屋外拡声子局難聴世帯の把握状況を伺う</p> <p>(2) 難聴世帯における戸別受信機設置希望に関する調査結果、状況を伺う</p> <p>(3) 戸別受信機傍受困難世帯への対策を伺う</p> <p>2 大規模な停電時における信号機の再点灯策について</p> <p>(1) 市内道路重要交差点にある信号機に、停電時に備えた小型電池を設置している箇所数を伺う</p> <p>(2) 未設置箇所に素早く発電機を持ち込み、再点灯できる体制はできないか</p> <p>3 難聴者（聾者）に対する本市の支援策について</p> <p>(1) 最終年度を迎える第4期障害福祉計画の成果と、次期計画の方向性を伺う</p> <p>(2) 新生児聴覚検査の実施状況を伺う</p> <p>(3) 意思疎通支援事業の実施状況を伺う</p>	